





# 京都佛立ミュージアム 現在『幕末維新の仏教改革者 長松清風展』を開催中

京都佛立ミュージアムは、平成二十四年七月、京都北野に誕生した小さな仏教のミュージアムです。「千年の都京都の町で生きた仏教に出会う」をテーマに、現在進行形の、今を生きる人びとのための生きた仏教を紹介する企画展を開催しています。また、二十一世紀の寺子屋として生涯学習支援プログラム「アラコヤスコラ」を開催し、「〇〇×仏教」というテーマで様々な講演を行っています。さらに、毎月二十五日には「ほんもんさんアート市」という京都で人気の手作り市を主催し、地域の方々の憩いの場を目指しております。日本にいても仏教のことを知らない人が増えつつあり、京都にお越しの方々に観光ではない仏教を伝えようと努めています。



本年は四月一日に生誕二百周年を迎える日蓮聖人（長松清風）を紹介する『幕末維新の仏教改革者 長松清風展』を開催中です。

日蓮聖人は生粋の京都人として書画や詩歌に長じ、その多彩な才能とともに仏教復興の実践者として当時の京都で知らぬ者がいないほど名を馳せていました。実際、京都の千本にあった阪井座では浄瑠璃芝居三国無類旭五字」と題した彼の人物伝が生前中にもかかわらず興行されていたほどでした。

十代の頃から、日蓮聖人は第一級の知識人、文化人として知られ、幕末の人物名鑑にも名を連ねていました。しかし、彼にとつて文芸の道を究め、名声を得るだけでは空しく、いつしか真実の仏法を求めて研鑽を重ねるようになり、最愛の母を亡くし、いよいよ仏道を志した聖人は、ついに真実の教えを確信し、法華経本門の御本尊の下で出家を果たしました。安政四年、日蓮聖人は数名の有志とともに生きた仏教を実践する「本門佛立講」



日蓮聖人にまつわる品々

というグループを結成し、活動を開始しました。寝食を忘れ、命をなげうって、まさに「法華経の行者」として幕末から明治を生きました。日蓮聖人は、近代日本宗教史の草分けと言われ、明治から現在にいたる仏教系新宗教の先駆的存在とされています。しかし、その出現の背景や存在意義、その生涯や信仰については、いまだ広く知られていません。

日蓮聖人が京都を代表する文人、学識者、デザイナーやイラストレーター、歌や書の達人であったこと。仏教を伝えようとユーモアあふれる絵画や皮肉のこもったイラストを描いていたこと。坂本龍馬や海援隊と接点を持っていたこと。たびたび牢屋に入れられたこと。明治天皇をもうならせていたこと。何よりも、真実の仏教を復興し、実践し、多くのひとと共に、この国と世界を変えていったこと。幕末から明治維新という時代の転換点、京都に誕生した佛立開導日蓮聖人。社会不安が広がり始め、仏教がその解決の力を失っていた幕末。都市化が進み町人文化が発達した京都という場所。その全てに意味がありました。



京都佛立ミュージアム

当企画展ではその日蓮聖人にまつわる品々や書、ご事跡などを展示にしています。企画展は平成二十九年十月十五日まで。入場無料。京都佛立ミュージアム 京都市上京区御前通一条上る東堅町一〇 旭〇七五―二八八―三三四 平 日・十時～十六時 土日祝・十時～十七時 休館：月曜日（但し、月曜日が祝祭日及び二十五日の時は開館、翌日代休）

# 「日蓮聖人御降誕八〇〇年記念慶讃事業」について 〈門連事務局からのお知らせ〉

現在、日蓮聖人門下連合会では平成三十三年二月十六日にお迎えする「日蓮聖人御降誕八〇〇年」にあたり、門下連合会をあげて慶讃し、報恩の誠を捧げるための事業に取り組んでいる。この事業を具体化するため、門連では当紙面の企画・製作を担っている機関紙編集委員会を御降誕八〇〇年記念慶讃事業の「準備委員会」と位置づけ、年に二回開催している理事会の承認を得ながら、事業を進めている。

十八年の歳月を経ての第五十号刊行であった。この節目を記念し、これまでの門連の歴史を顕彰するため創刊号から第五十号までの合本を製作し、本年四月以降に発行することを予定している。



京都理事会 (H28.10.26)



機関紙編集委員会 (H29.1.25)

本号では、現在取り組んでいる四つの事業についての概要を紹介したい。

①機関紙「門連だより」合本の作製  
平成二十六年十月十三日に「門連だより」は第五十号の節目を迎えた。昭和六十一年四月二十八日の創刊号から実に二

②「門下連合会」ホームページの作成  
ネット社会となった現在、情報の検索や情報発信はインターネットが主流となっている。門連加盟の十一団体では教団独自でホームページを持っているところもあるが、門下連合会としてのホームページは現在持っていない。そのため、門連の活動をウェブ上でも紹介し閲覧できるよう、また各教団のウェブサイトを相互リンクさせて情報を共有し、多くの方に門下連合会からの情報を発信で

③前進座 嵐圭史氏による日蓮聖人御遺文（手紙）の朗読劇全国行脚  
劇団・前進座において長年看板役者として活躍している嵐圭史氏は、昭和五十四年の「日蓮聖人第七百遠忌」の際には特別記念企画「日蓮劇」の主演を約三年にわたって演じられた。また、嵐氏は東京都谷中にある日蓮宗寺院の代々の檀家でもあり、法華経との縁も深い。この公演は「日蓮聖人御遺文・朗読行脚」として、一人芝居を交えながらおこなう。主に寺院や地域のホールを会場とし、自由闊達なスタイルで全国に日蓮聖人の魅力を紹介していくものである。なお、全国行脚の開始は来年以降を予定している。

④中国 草堂寺結集  
中国・西安にある草堂寺は、私たちが信仰の拠り所としている『妙法蓮華経』を鳩摩羅什三蔵が漢訳されたと伝わる聖地であり、鳩摩羅什三蔵の墓地もある特別な地である。当企画はその聖地を訪ね、法華経への信仰をより一層深めるのことに目的としている。なお、具体的な開催時期や団参行程は現在検討中である。今後各事業の進捗を紙面にてご紹介していきたい。



### 日蓮宗宗務院

管 長 内野日総 財務部長 中川法政  
 宗務総長 小林順光 宗務総長室長 小林正雄  
 伝道局長 中井本秀 現代宗務研究所長 三原正資  
 総務局長 塩崎望巳 参 与 山口裕光  
 伝道部長 松井大英 参 与 吉田海心  
 教務部長 柘植海潮 日蓮宗新聞社長 草ヶ谷秀人  
 総務部長 川口智康

〒146 8544 東京都大田区池上一―三二―一五  
 電話 〇三(三七五)七七八一  
 FAX 〇三(三七五)七八六  
<http://www.nichiren.or.jp>

### 法華宗(本門流)宗務院

管 長 小西日遼  
 宗務総長 二瓶海照  
 布教部長 金井孝顕  
 総務部長 三井廣顕  
 教学部長 清吉光明  
 財務部長 清水常光  
 企画部長 山田庸温

〒103 0013 東京都中央区日本橋人形町二―一九―一  
 電話 〇三(五六一四)三〇五五  
 FAX 〇三(五六一四)三〇五六  
<http://www.hokkeshu.or.jp>

### 顕本法華宗宗務院

管 長 山本日恵  
 宗務総長 島田幸晴  
 宗務次長 秋葉敬真  
 布教部長 早川義正  
 財務部長 湯原純勇  
 庶務部長 津村乗信  
 社会部長 藤本智成  
 教務部長 湯原正純

〒606 0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一  
 電話 〇七五(七九二)七二七一  
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

### 法華宗(陣門流)宗務院

管 長 門谷日悠  
 宗務総長 西山英仁  
 総務部長 牧野秀成  
 教学部長 布施義高  
 教化部長 松吉慶憲  
 財務部長 金原孝宜  
 企画部長 今井満良

〒170 0002 東京都豊島区巣鴨五―三五―六  
 電話 〇三(三九一八)七二九〇  
 FAX 〇三(三九一八)〇二二一

### 本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 木村日覺  
 宗務副総長 亀井日魁  
 宗務副総長 西村日勲  
 教務局長 小西日演  
 弘通局長 植西日事  
 総務局長 小野日将  
 広報局長 永江日盡  
 財務局長 岡田日秀  
 奉賛局長 藤本日朗  
 センター特別局長 藤本日唱

〒602 8377 京都市上京区御前通二条上多東町二―〇番地  
 電話 〇七五(四六一)一六六(代)  
 FAX 〇七五(四六四)五五九九

### 日蓮本宗宗務院

管 長 丹治日遠  
 宗務総長 渡邊光顕  
 総務部長 野津哉輪  
 教務部長 佐藤勸行  
 財務部長 工藤海淳  
 主 事 藤海淳

〒606 8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ノ法皇寺町四四八  
 電話 〇七五(七七二)三三九〇  
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

### 法華宗(真門流)宗務庁

管 長 田仲日紘  
 宗務総長 堀智泰  
 総務部長 木村完祥  
 教学部長 堀内浩善  
 教化部長 加藤順昭  
 財務部長 上田泰源  
 社会部長 峰尾泉栄

〒602 8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ノ紋屋町三三〇  
 電話 〇七五(四四一)五七六二  
 FAX 〇七五(四四一)五六六六

### 本門法華宗宗務院

宗務総長 香川日憲  
 宗務副総長 増田日雄  
 宗務部長 吉村日彦  
 財務部長 高邊日啓  
 教務部長 土畑信教  
 庶務部長 松本真隆

〒602 8418 京都市上京区寺之内通大宮東入大本山妙蓮寺内  
 電話 〇七五(四五二)三五二七  
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

### 宗教法人 国柱会

賽 主 田中壯谷  
 理事長 原田義彦  
 門連理事 森山真治  
 門連常任理事 藤本坦孝  
 門連理事 的場春奈  
 編集委員 (阿連上ノ)

〒132 0024 東京都江戸川区一之江六一―九一―八  
 電話 〇三(三六五六)七二二(代)  
 FAX 〇三(三六五六)九九八〇  
<http://www.kokuchukai.or.jp>

### 京都日蓮聖人門下連合会

会 長 伊丹日章  
 副会長 福井日進  
 理事長 橋本一妙  
 副理事長 赤塚高明

京門連事務局  
 〒606 8376 京都市左京区二条通川端東入大菊町九六  
 頂妙寺布教会館内 日蓮宗京都府第一部宗務所内  
 電話 〇七五(七六二)二四一一  
 FAX 〇七五(七五二)九三三八

### 日本山妙法寺大僧伽

首 座 吉田行典  
 責任役員 酒井天信  
 同 今井行康  
 同 池田行朗  
 同 二宮和嘉  
 同 木津博充  
 同 川岸行孝

日本山妙法寺大僧伽事務局  
 〒150 0045 東京都渋谷区神泉町八一七  
 電話 〇三(三四六一)九三六三  
 FAX 〇三(三四六一)九三六七

### 大阪日蓮聖人門下懇話会

理事長 佐藤哲夫 問 藤村恵容  
 副理事長 佐野貫順 問 門谷光瑞  
 顧 問 奥邨正寛 問 中村日游  
 顧 問 木下恵温 問 東孝信

〒530 0051 大阪府大阪市北区太融寺町六一―十二 円頓寺内  
 電話 〇六(六三六一)七六六四  
 FAX 〇六(六三六一)七六六四

<p>日蓮宗総本山 <b>身延山久遠寺</b></p> <p>〒409 2593 山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七 電話 〇五五六(六二)一〇一一 FAX 〇五五六(六二)一〇九四</p> <p>法主 内野 日総 総務 井上 瑞雄</p>	<p>法華宗(本門流)大本山 <b>本 鉢 寺</b></p> <p>〒604 8091 京都府京都市中京区寺町通御池下る 電話 〇七五(二三)五三三五 FAX 〇七五(二二)二八三八</p> <p>貴首 桃井 日英 執事 長 赤田 泰宏 役員 一同</p>	<p>日蓮宗大本山 <b>池上本門寺</b></p> <p>〒146 8576 東京都大田区池上一一一一 電話 〇三(三七五)一三三一一 FAX 〇三(三七五)三三五〇</p> <p>貴首 菅野 日彰 執事 長 金子 元彦 役員 一同</p>	<p>法華宗(陣門流)総本山 <b>本 成 寺</b></p> <p>奉安門下最古一尊四士仰本尊</p> <p>〒955 0845 新潟県三条市西本成寺一〇一〇 電話 〇二五六(三三)〇〇〇八 FAX 〇二五六(三三)〇〇五九</p> <p>貴首 門谷 日悠 執事 長 笹原 壯玄 山務員 一同</p>
<p>多寶富士山 日蓮 本山 <b>本山要法寺</b></p> <p>〒606 8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八 電話 〇七五(七七)三三九〇 FAX 〇七五(七七)五九一四</p> <p>貴首 丹治 日遠 執事 長 野邊 光頭 執事 佐藤 勸行 主事 工藤 海淳</p>	<p>本門法華宗大本山 <b>妙 蓮 寺</b></p> <p>〒602 8418 京都市上京区寺之内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話 〇七五(四五)三五二七 FAX 〇七五(四五)三五九七</p> <p>執事 長 音羽 隆全 役員 一同</p>	<p>法華宗(真門流)総本山 <b>本 隆 寺</b></p> <p>〒602 8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇 電話 〇七五(四四)五七六二 FAX 〇七五(四四)五六六六</p> <p>貴主 田仲 日紘 執事 長 本多 信正 執事 永岡 悠希 執事 足立 真正 執事 補 笹木 研吾</p>	<p>本門佛立宗本山 <b>宥 清 寺</b></p> <p>住職 二十六世講有 高須 日良 執事 長 白石 日是 事務局長 奥 順作</p> <p>〒602 8336 京都市上京区二条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一 電話 〇七五(四六)四六二〇(代) FAX 〇七五(四六)四六五一</p>
<p>日蓮宗大本山 <b>清 澄 寺</b></p> <p>出家得度の霊場 別当 二宮 日敬 執事 長 宮崎 雅宣 役員 一同</p> <p>〒299 5505 千葉県鴨川市清澄三二二一一 電話 〇四(七〇)九四〇五二五 FAX 〇四(七〇)九四〇五二七</p> <p>団参には是非、研修会館をご利用ください。 一六〇名様まで可。</p>	<p>京都 <b>法華門流懇話会</b></p> <p>法華宗(真門流)総本山本隆寺 貴主 田仲 日紘 頭本法華宗 総本山妙蓮寺 貴首 山本 日恵 法華宗(本門流)大本山本鉢寺 貴首 桃井 日英 本門佛立宗 本山看清寺 講有 高須 日良 日蓮本山 本山要法寺 貴首 丹治 日遠 法華宗(陣門流) 本山本禅寺 貴首 福井 日進 頭本法華宗 本山寂光寺 貴首 大川 日仰 本門法華宗 大本山妙蓮寺</p>	<p><b>京都八本山会</b></p> <p>会本・本山 本満寺 貴首 伊丹 日章 大本山 本園寺 貴首 伊藤 日慈 大本山 妙顯寺 貴首 三田村 日正 本山 立本寺 貴首 上田 日瑞 本山 妙傳寺 貴首 野々垣 日祐 本山 頂妙寺 貴首 安藤 日瑛 本山 妙覺寺 貴首 及川 日周 本山 本法寺 貴首 瀬川 日照</p>	<p>宗祖御降誕霊場 日蓮宗大本山 <b>誕 生 寺</b></p> <p>宗祖御降誕八百年に向かつての祈り</p> <p>貴首 石川 日命 執事 長 橘高 智光</p> <p>〒299 5501 千葉県鴨川市小湊一八三 電話 〇四(七〇)九五二六二一 FAX 〇四(七〇)九五二〇五五</p>
<p>日蓮宗大本山 <b>中山法華経寺</b></p> <p>貴首 新井 日湛 参 与 田代 浩敬 参 与 植田 観樹 参 与 吉田 文堯 参 与 田中 貞奨</p> <p>〒272 0813 千葉県市川市中山二一〇一一 電話 〇四七(三三)四三三三 FAX 〇四七(三三)四一七九六</p>	<p>日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 <b>富士山法華本門寺根源</b></p> <p>貴首 旭 日重 執事 長 川名 義顕 参 与 吉田 日綱 参 与 井野上 正文</p> <p>〒418 0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話 〇五四四(五八)一〇〇四 FAX 〇五四四(五九)〇三〇三</p>	<p>日蓮宗霊跡本山 比企谷 <b>妙 本 寺</b></p> <p>貴首 玉川 日薩 執事 長 今川 高之 山務役員 一同</p> <p>〒248 0007 鎌倉市大町一〇一五一一 電話 〇四六七(二二)〇七七七 FAX 〇四六七(二二)六九六七</p>	<p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 <b>堀之内妙法寺</b></p> <p>山主 山田 日潮</p> <p>〒166 0013 東京都杉並区堀之内三十四八八 電話 〇三(三三)三三三三 FAX 〇三(三三)三三三三</p>
<p>平成三十三年二月十六日は 宗祖御降誕八百年を 迎えます</p> 	<p>徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安 <b>瑞 輪 寺</b></p> <p>貴首 井上 日修 執事 長 稲荷 泰雅</p> <p>〒110 0001 東京都台東区谷中四一二一五 電話 〇三(三八)二四三三 FAX 〇三(三八)二七〇三三</p>	<p>日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 <b>藻 原 寺</b></p> <p>貴首 持田 日勇 総務 増田 寶泉 執事 長 富永 一道 執事 中川 貫泰</p> <p>〒297 0026 千葉県茂原市茂原一二〇〇一 電話 〇四七五(二二)三二五三 FAX 〇四七五(二二)一一七三</p>	



# 門連時報

## 京都理事会開催さる



門下連合会事務局より事業報告、会計報告がなされ、京都門連、大阪門下懇話会がそれぞれ活動を報告した。

また、平成三十三年二月十六日にお迎えする宗祖御降誕八〇〇年の記念慶讃事業について、事務局より進捗状況を報告した。その後、同会場において記念慶讃事業の一つとして予定されている「朗読劇全国行脚」の一端を俳優の嵐圭史氏が出席者の前で披露し、全国行脚にかけの経緯と意気込みが語られた。

理事会後の懇親会では出席者同士、和やかな雰囲気の中、懇親を深め、活発な情報交換の様子が見られた。

## 京都日蓮聖人門下連合会事業開催

### 「お会式奉行」

去る十月一日(土)第七三五五年忌お会式法要が本門法華宗大本山妙蓮寺(京都市上京区)で厳修された。

晴天のもと門下青年会主体の青年僧約二十名が市中唱題行脚を実施した。行脚隊一行は妙蓮寺より本法寺、妙顕寺、妙覺寺と巡り、元気に約一時間お題目の功德をあげ、布教活動を行い妙蓮寺に帰山した。当日は夏を思い出すほどの暑さだったが参加者全員晴れ晴れとした表情であつた。

於：本門法華宗大本山 妙蓮寺  
平成二十八年十月二十六日(水)  
昨年十月二十六日(水)、本門法華宗大本山妙蓮寺において、日蓮聖人門下連合会京都理事会が開催され、全門連及び京都門連役員各聖、大阪門下懇話会理事長の五十七名が参列した。

あつた。

その後、二時半より日蓮宗本山妙覺寺及川日周院下による法話があり、続いて妙蓮寺松下日肆院下大導師、音羽隆全理事長、橋本一妙副理事長脇導師がお会式法要を開式した。門下本山会各貫首約三十名、檀信徒約百名が参列し、法華経お題目弘通、一天四海皆帰妙法、末法万年広宣流布の祖願達成にご生涯を捧げられた宗祖大聖人に対し報恩感謝の誠を込めお題目を熱心に唱えた。僧俗参列者全員の異体同心でお唱えするお題目と大太鼓の響きでさすがに広い本堂も狭く感じる思いであつた。最後に音羽隆全理事長より真心のこもった温かい謝辞の挨拶でお会式法要を閉式した。

## 「妙蓮寺松下日肆院下御遷化」

本門法華宗管長、大本山妙蓮寺第百十九世貫首大僧正日肆院下は、去る平成二十八年十二月十九日忽然として遷化なされた。世壽八十三歳。京都市上京区堅樹院第二十六世、常住院第三十三世歴任。上人の号は大樹院。姓は松下。

十二月二十一日午後一時より妙蓮寺閑土松本日望院下大導師のもと、全国より参集した宗門寺院各聖、多数の檀信徒、幅広い交友関係者各位が参列し、密葬の儀をしめやかに執り行った。尚、本葬は平成二十九年二月五日午後一時より妙蓮寺にて厳修された。

## 「門下本山会後期主伴会開催」

年の瀬もいよいよ押し詰まる十二月二十二日(木) 京都日蓮聖人門下本山会の平成二十八年度後期主伴会が当番寺院日蓮宗本山本満寺(伊丹日章院下)主催で開催された。

主伴会とは京都日蓮聖人門下十六本山の貫首と各本山執事が参席し各宗各山の近況報告、次年度の行事予定、意見交換などを致し各宗各本山相互の連携を確認し懇親を深める重要な会合である。六月に前期の主伴会があり十二月に後期の主伴会が開催される。

先ず会議開式に際し、三日前に突然遷化なされた本門法華宗大本山妙蓮寺貫首松下日肆院下を偲び伊丹日章院下御発声でお題目を唱え黙禱し日肆院下の増円妙道を祈った。続いて音羽隆全師より前日の密葬の謝辞、二月の本葬の案内があつた。

今年度は二月に法華宗本門流大本山本能寺貫首菅原日桑院下、三月には日蓮宗大本山元貫首南條日慈院下の遷化の訃報があり、京門連にとり大変寂しい年であつた。

## 大阪日蓮聖人門下連合会事業開催

### ▼御遷化

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
平成二八・一一・一〇	佐古弘文	法華宗(陣門流)	常任理事		
平成二八・一二・一九	松下日肆	本門法華宗	顧問		

### ▼人事(事務局への連絡日を含む)

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
平成二八・一〇・一二	加藤法夫	日蓮正宗	常任理事		
平成二八・一〇・一二	渡邊光顕	日蓮正宗	理事		
平成二八・一〇・一二	原光明	日蓮正宗	理事		
平成二八・一〇・一二	野津哉輪	日蓮正宗	理事		
平成二八・一〇・一二	住友公亮	日蓮正宗	理事		
平成二八・一二・八	佐藤勸行	法華宗(陣門流)	常任理事		
平成二八・一二・八	西山英仁	法華宗(陣門流)	常任理事		
平成二九・一一・一	伊丹日章	京都門下連合会	顧問		
平成二九・一一・一	音羽隆全	京都門下連合会	常任理事		
平成二九・一一・一	橋本一妙	京都門下連合会	常任理事		
平成二九・一一・一	赤塚高明	京都門下連合会	理事		
平成二九・一一・一	福岡日雙	本門佛立宗	理事		
平成二九・一一・一	長松清潤	本門佛立宗	理事		

## 第二十四回合同御会式

合同御会式が昨年十一月三日、大阪市北区の圓頓寺に於いて開催された。佐藤理事長導師の下奉行され、多数の会員教師と檀信徒が列席した。法要後、蓮興寺住職遠藤智照信師による「金子みすゞ『心の世界』」と題した法話と、旭堂南麟師による講談「日蓮聖人一代記―身延入山―」が演じられた。

## 第二十七回研修会

研修会が昨年十二月八日、大東洋に於いて「Studio.S」の地域デザインプランナー松井聡子氏を講師に招き開催された。「まちづくりは人づくり―日本から世界の村まで現場を語る―」という講題で、東南アジア諸国の水事情や南三陸復興苦話をして頂いた。後、講師を囲んでの懇親会が開かれ会員との親睦を深めた。

ご家族と共に子孫に伝える信仰の証

# 日蓮宗全国五十七箇本山 御朱印めぐりセット

日蓮宗の本山五十七箇寺を巡り五十七紙の貫首さまの御首題に御朱印を拝受し巡る生涯忘れ得ぬ感動の旅を



※セット内容イメージ

監修 日蓮宗全国本山会

【セット内容】(箱入り)  
57本山貫首さまの御首題 57紙+白紙3枚 計60枚  
御首題携行帳 3帳(予備2帳)  
参拝案内カード 57種(最新地図・交通情報)  
手引書 1冊  
※参拝のワンポイント・団参コース等の案内

頒価 2,160円 (税込・送料別)



# 本山めぐり

頒価 3,240円 (税込・送料別)

「全国五十七本山めぐり」完全対応・必携の書。

日蓮宗五十七本山の伝記と歴史の旅案内。幾星霜、信仰を支えてきた緑に映える伽藍の偉容、日蓮聖人とお弟子たちの歴史への旅案内。



